

2018年11月20日

現金受取サービス「ITビジネス賞」受賞

株式会社セブン銀行（以下、セブン銀行、東京都千代田区、代表取締役社長 舟竹 泰昭）とセブン銀行子会社の株式会社セブン・ペイメントサービス（以下、セブン・ペイメントサービス、東京都千代田区、代表取締役社長：和田 哲士）は、公益社団法人企業情報化協会（以下、IT協会）が主催する「平成30年度（第36回）IT賞」において、銀行口座を介さなくてもセブン銀行のATMとセブン-イレブンのレジで現金が受取れる現金受取サービスで「ITビジネス賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。



○主な受賞理由

- ・送り手、受け手双方にとって送金手段の多様化、利便性向上につながるサービスであること
- ・従来品質を確保しながらクラウド基盤を活用し、クイック&スモールでシステムを開発し、将来的なビジネス・システムの拡張にも備えたこと

IT協会では、我が国の産業界において、“ITを活用した経営革新”に顕著な努力を払い、優れた成果をあげたと認められる企業・自治体・機関・事業所・部門に対してIT賞を授与しています。そのうち、「ITビジネス賞」はITを効果的に導入・活用することにより、ビジネス活動における戦略的優位の実現や事業の拡大・創出による経営貢献について、顕著な成果をあげたと認定された場合に授与されます。

※「平成30年度（第36回）IT賞」の受賞理由と結果、くわしい内容についてはIT協会のウェブサイトをご参照ください。<http://www.jiit.or.jp/information/detail/info36itaward.html>

セブン銀行とセブン・ペイメントサービスはこれからもお客さまのニーズをいち早く捉え、技術革新の成果をスピーディーに取り入れながら、安心・安全と利便性を追求したサービスの提供に努めてまいります。

以上